第5号
2015/10

PVかながわ ニュースレター

NEWS

全量買取だから10年で回収可能？ 50kWの発電所を個人で作る！

メガソーラーなどの報道がよくされていますが、MW規模でなくても50kW未満の発電所なので個人的に私自身試してみました。自宅には2004年に3.6kWのパネルを載せており、今も元気に発電しています。もっと規模を大きくしたいと思っていましたが、屋根の面積には限りがあるし、庭に設置するのも困難。でも別の場所に太陽光発電専用に土地を購入し、そこに発電所を作るということは個人でも可能です。2012年にそんな制度ができてから、いろいろ画策した結果、実現させたのです。1つは富士山麓の富士河口湖町、もう1つは千葉市内の畑に囲まれた場所。いずれもクルマで2時間程度行ける田舎で土地も安く入手可能。ここに架台を設置し、パネルを載せ、パワコンを取り付けることで、個人発電所を作ったのです。気になるのは、いくらぐらいかかるのか…ということでしょう。最近の相場でいうと、土地の値段を除いて50kWで1500万円程度。また系統連系50万円～100万円程度です。低利の融資制度もあり、売電収入により10年程度で回収することが可能そうです。

こうした発電所でも健康診断は非常に重要で、自宅の屋根よりも深刻です。電線泥棒が入るリスクもあるし、雑草で影になることもあるからです。そのためエコめがね等のモニタリングシステムでの監視は必須。今後、草採りが重要な業務となりそうです。（藤本健）

10月2日に稼働したばかりの千葉市内の畑の真ん中に設置した50kWの発電所

世話人から

1）保証期間切れが
近いか、あるいは、経過したシステムは、発電量低下、や異常に注意しましょう。

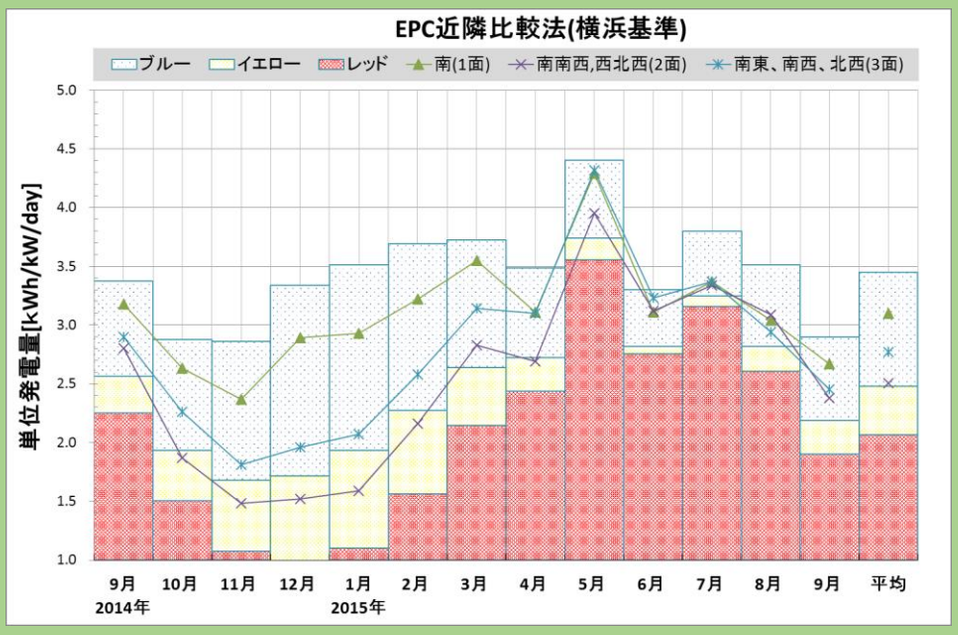
2）今後の予定

10月17日 13時10～ 第15回
「出前発電所をつくろう！」
会場：多摩市民館

10月25日 10時～15時
あつぎ環境フェア開催
（厚木市制60周年記念事業）
県央近隣グループの出展に協力して運営します。
会場：厚木中央公園
（雨天決行，荒天中止）

11月28日、29日 9時～
まなぶん祭り
会場：ほどがや市民活動センター（アワーズ）

今月の単位発電量！



横浜の日照時間は昨年9月と比べる約−25%となり発電量はやや低調でした。

気象庁によると9月は、「11日頃までは、低気圧や前線が日本付近を通過することが多く、曇りや雨の日が多く気温の低い日が続いた。9日には台風第18号が東海地方に上陸し、広い範囲で大雨となり、日本の東海上を台風第17号が北上した影響も加わり、記録的な大雨による河川の氾濫など大きな被害が生じた。東日本太平洋側では上旬の降水量が平年比418%、東日本日の本海側では上旬の日照時間が平年比36%となり、9月上旬としては1961年の統計開始以来、それぞれ最多および最少の記録を更新した。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。平均は直近12か月の単位発電量です。ご自分のデータもプロットしてみましょう。